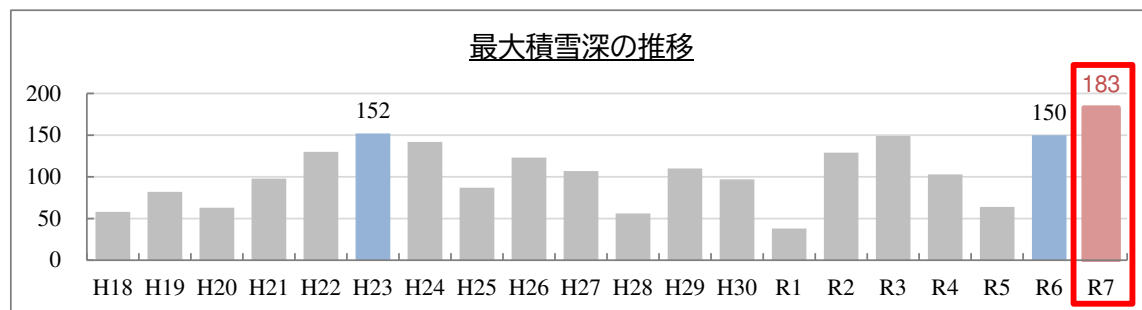
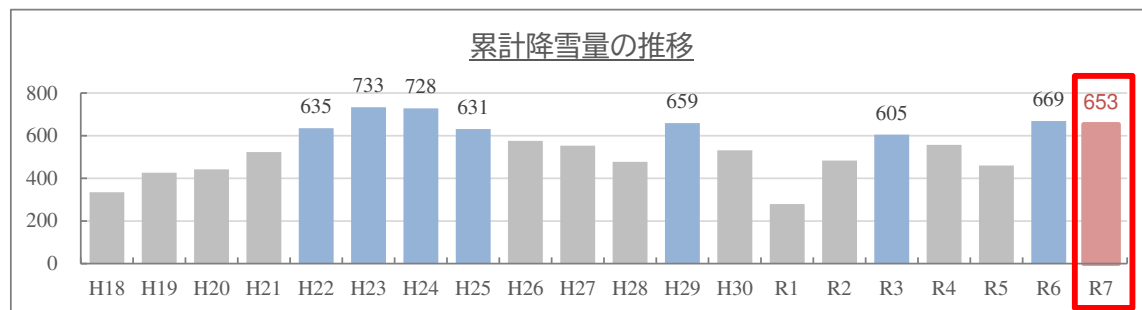
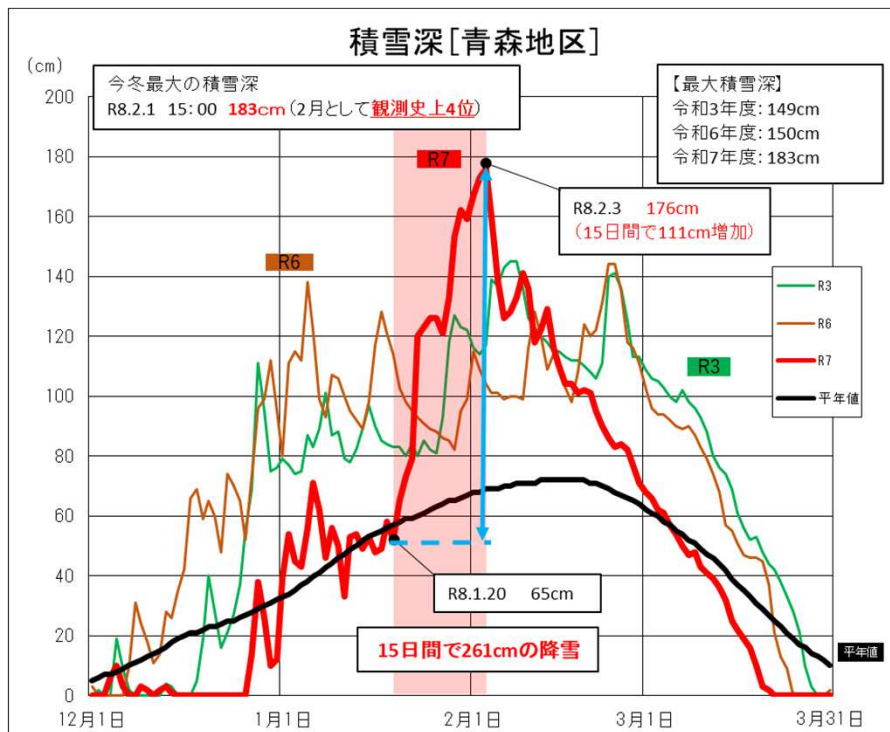


雪ミーティング資料

令和8年7月
青 森 市

除排雪事業に関する近年の状況

近年の積雪状況、累計降雪量と最深積雪の推移



平均最大積雪深110cm 平均累計降雪量618cm

除排雪に要した事業費

令和7年度総事業費(見込額)

83億3,900万円

73億4,000万円(令和6年度)



市民相談件数

令和7年度 **24,314件**

(青森23,488件、浪岡826件)

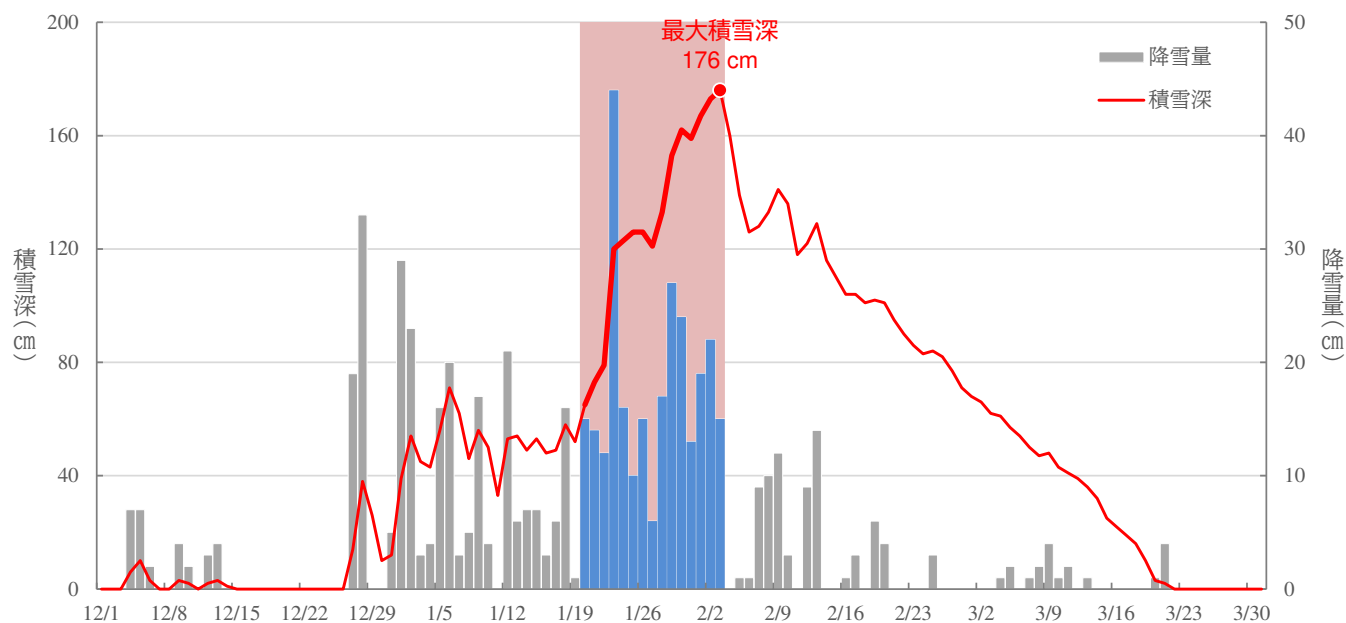
18,964件(令和6年度)



除排雪事業に関する近年の状況

近年の降雪傾向

- ・ 近年においては、**短期間に集中的な降雪が生じる**ことにより、**積雪深が急激に増加**する傾向に変化。
- ・ 令和7年度には、1/20～2/3の**15日間に261cm**の降雪が生じたことにより、積雪深が**111cm増加**。
- ・ 今後においても、継続的な降雪が生じた際には、**災害級**の積雪深に至る可能性が大きい。



全面委託工区(生活道路)における課題

令和7年度 市民相談件数の主な内訳

23,488件
(青森地区)



これまでの全面委託工区の除排雪作業

- ・ 除雪作業と排雪作業を同時に実施。
- ・ 道路幅員の確保、見通しの確保、寄せ雪の軽減など、きめ細かな行政サービスの提供として実施。

課 題

- ・ 排雪用ダンプトラックや誘導員の確保状況によって、作業準備に時間を要する。
- ・ 短期集中の降雪時は、これまでの体制や機力では対応が困難であり、作業方法の見直しが必要。



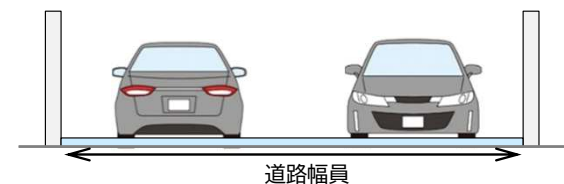
迅速性を重視した除排雪方法への見直し（除雪と排雪の出動指令を分離）

迅速性を重視した除排雪方法への見直し(案)

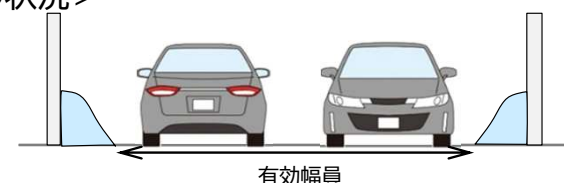
● 除排雪方法の見直し(案)

- ・ 道路交通の確保を最優先とし、除雪のみの指令も含め、**除雪作業の回数を増やす**。
- ・ 一定量の降雪があった場合は、原則、早期に除雪作業を実施し、**道路に圧雪を作らないよう除雪**を行う。
- ・ 寄せ雪の堆雪状況を踏まえ、**排雪作業を行う**。
交差点付近は、**排雪作業時に雪盛り処理**を行う。
- ・ 迅速性を重視するため、一定量の**寄せ雪が残ることもあります**。

<降雪時>



<除雪作業後の状況>
(1回目)



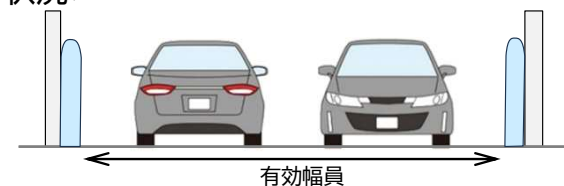
<除雪作業後降雪時>



<除雪作業後の状況>
(2回目)



<排雪作業後の状況>



新たな除排雪体制の構築に向けた取組の方向性

1 迅速性を重視した除排雪方法への見直し

- ・道路交通の確保を最優先とし、除雪のみの指令も含め、除雪作業の回数を増やす作業方法に見直す。

2 運用に見合った契約方法への見直し

- ・従来のシーズン契約から、原則、作業量に応じた契約方法に切り替える。



3 分かりやすい除排雪業務評価制度の構築

- ・市民に分かりやすく客観性のある評価制度、及び迅速性を重視した評価制度とする。

4 新たな雪寄せ場、雪捨て場の確保

- ・新たな候補地、遊休地や国有地の調査、豪雪時は雪寄せ場として小中学校校庭等の活用を検討する。

5 GPS等のICT技術の導入による進捗管理と情報提供の充実

- ・全ての除排雪重機(1,000台規模)にGPSを搭載し、作業管理と作業の見える化による情報発信の充実を図る。